

# どこでも 写真管理 Plus<sup>+</sup>

Android 版

どこでも写真管理 Plus

工事写真撮影 操作手順書

USB 接続

EX-TREND武蔵 写真管理、黑板作成・連携ツール、  
どこでも写真管理Plusでデータを連携して、  
電子小黑板機能付き工事写真を撮影する操作を説明します。

※解説内容がオプションプログラムの説明である場合があります。  
ご了承ください。

## 注意 使用時の注意点

下記を超えると、端末のメモリー等の仕様にもよりますが動作が不安定となる可能性がありますので、それ以下で運用することをお奨めします。

- ・黑板総数：200枚以下
- ・撮影済み写真は200枚程度を最大として、随時PCへ保存

# 目次

## Android版 どこでも写真管理Plus 工事写真撮影 操作手順書 USB接続

1. どこでも写真管理Plusについて _____	1
どこでも写真管理Plusの概要 _____	1
黒板・写真データを転送する方法 _____	2
2. 写真管理で工種分類を作成する _____	3
工種分類を作成する _____	3
3. 黒板作成・連携ツールで黒板データを作成する _____	5
黒板作成・連携ツールを起動する _____	5
黒板を作成する _____	7
黒板の情報を設定する _____	9
豆図を設定する _____	10
4. 黒板データをどこでも写真管理Plusに転送する _____	12
工事データを作成する _____	12
黒板データを転送する _____	13
5. どこでも写真管理Plusで写真を撮影する _____	17
黒板データを取り込む _____	17
電子小黒板付き写真を撮影する _____	19
6. 撮影した写真を写真管理に取り込む _____	22
写真を取り込む _____	22

# 1

## どこでも写真管理 Plus について

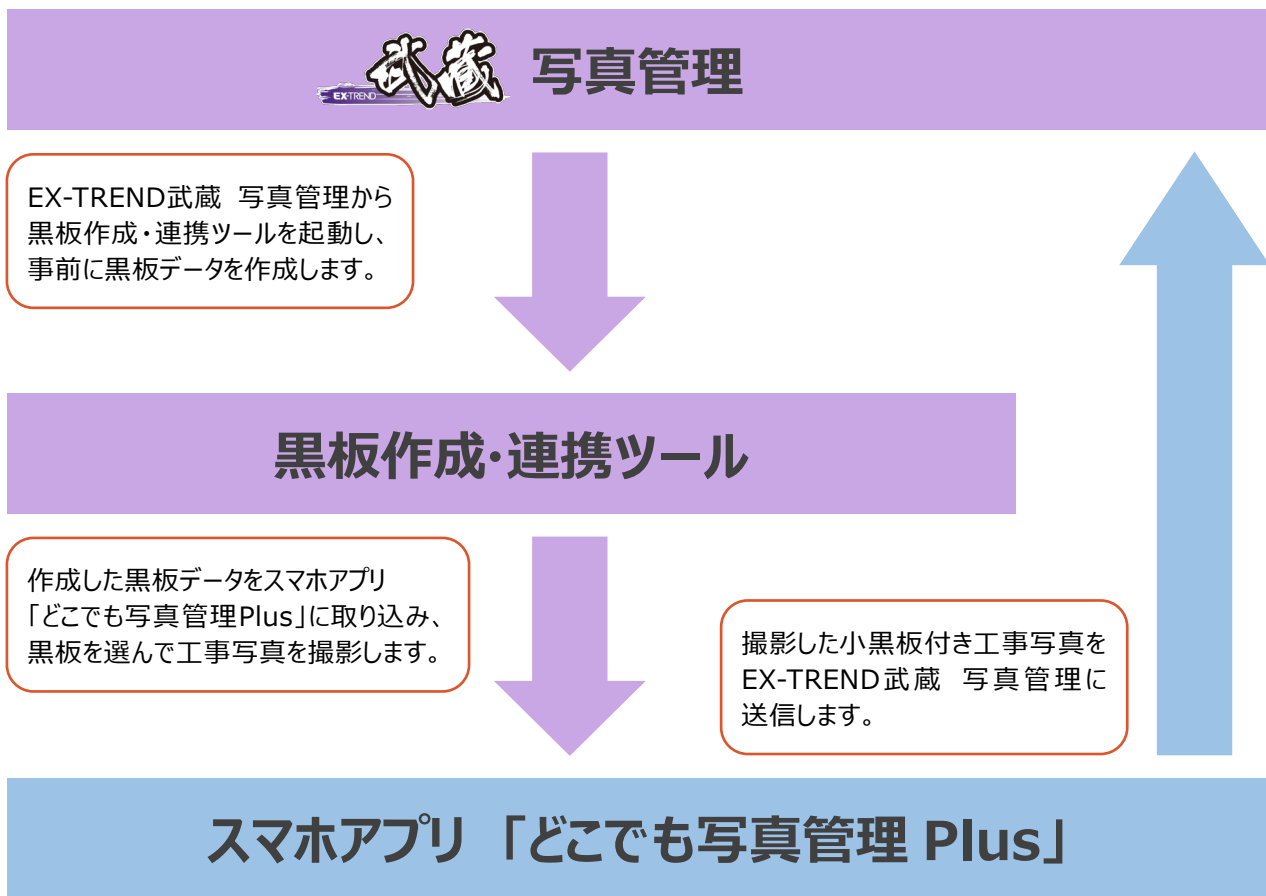
どこでも写真管理Plusについて解説します。

### どこでも写真管理Plusの概要

EX-TREND武蔵 写真管理、黒板作成・連携ツール、スマホアプリ「どこでも写真管理Plus」の連携について説明します。

どこでも写真管理Plusとは、電子小黒板機能付き工事写真撮影アプリです。

※クラウド連携を使用する場合は「CIMPHONY Plus」または「RICOH Drive」の契約が必要です。

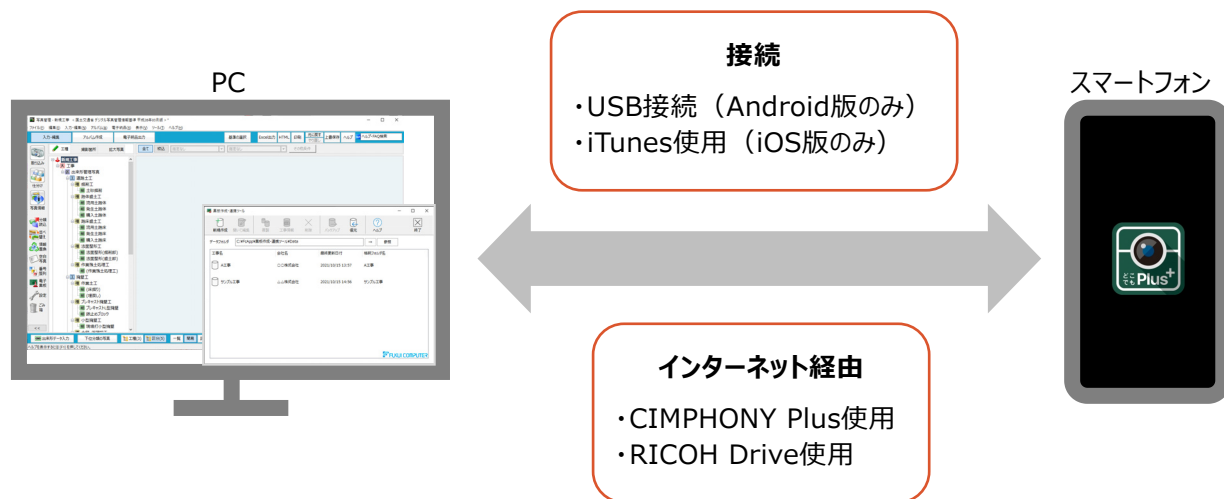


## 黒板・写真データを転送する方法

PCとスマートフォン間で黒板や写真データを転送する方法は4通りあります。

- ・USBで接続する（Android版のみ）
- ・CIMPHONY Plusを使用する（Android版・iOS版 共通）
- ・RICOH Driveを使用する（Android版・iOS版 共通）
- ・iTunesを使用する（iOS版のみ）

インターネットを経由する（CIMPHONY Plusを使用する、RICOH Driveを使用する）と、PCとスマートフォンが離れた場所（事務所と現場など）にある場合でも黒板や写真データを転送できます。



## 2

# 写真管理で工種分類を作成する

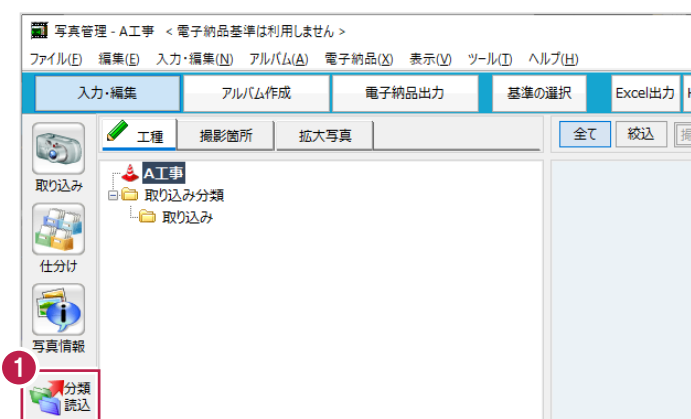
EX-TREND武蔵 写真管理で工種分類を作成します。

## 工種分類を作成する

EX-TREND武蔵 写真管理で電子小黒板に使用する分類を作成します。

ここでは、工事テンプレートから分類を読み込みます。

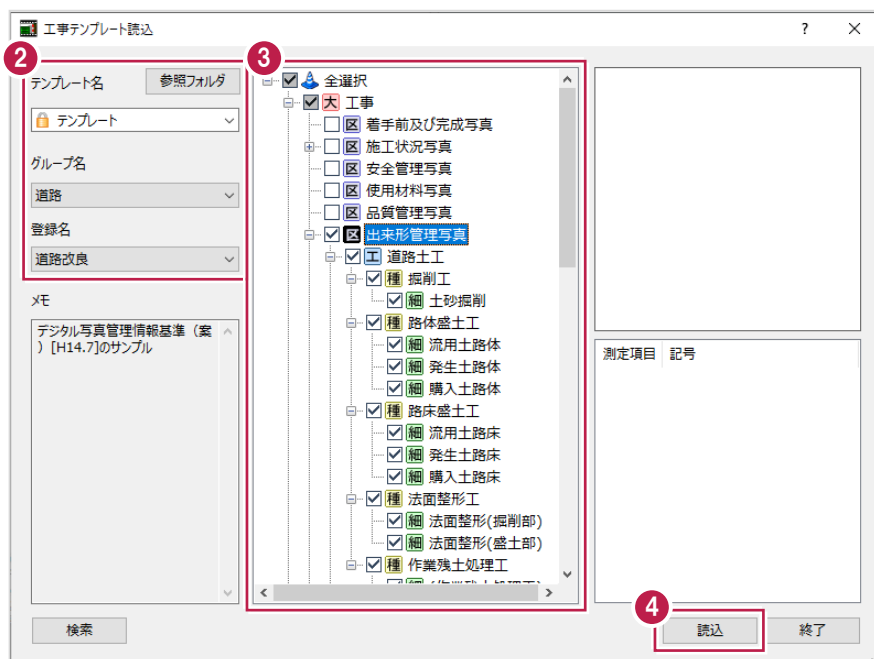
### 1. 写真管理の [分類読込] をクリックします。



### 2. [テンプレート名] [グループ名] [登録名] を選択します。

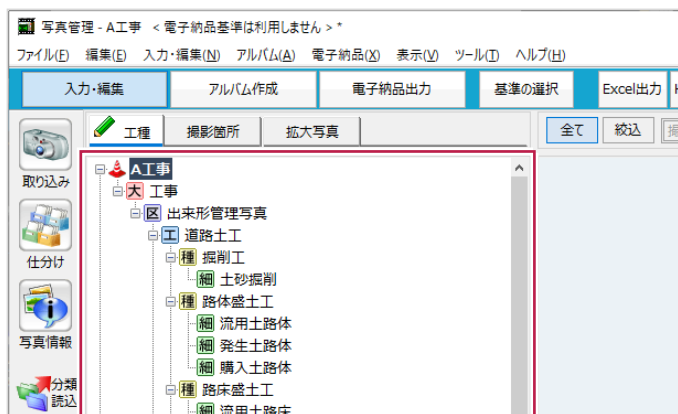
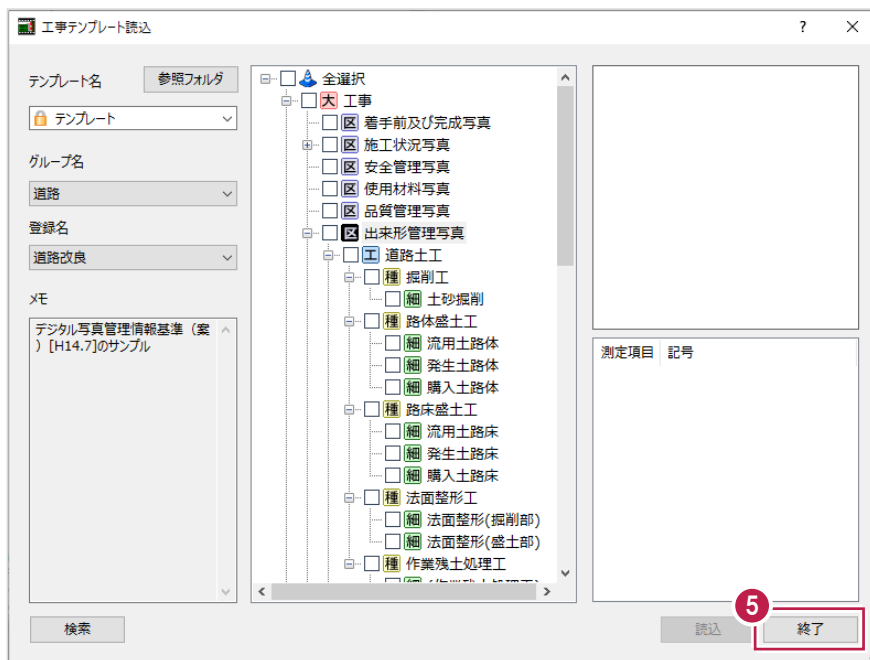
### 3. 読み込む分類をオンにします。

### 4. [読込] をクリックします。



## 5. [終了] をクリックします。

分類が読み込まれます。



# 3

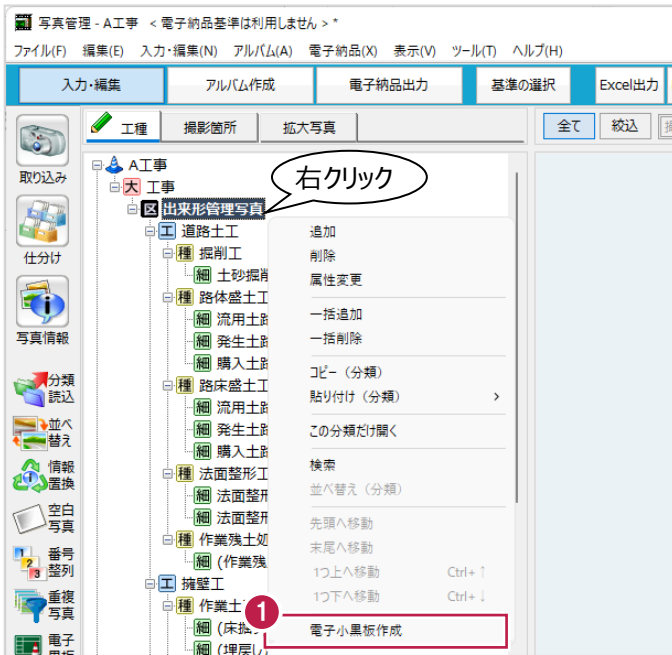
## 黒板作成・連携ツールで黒板データを作成する

黒板作成・連携ツールで黒板データを作成します。

### 黒板作成・連携ツールを起動する

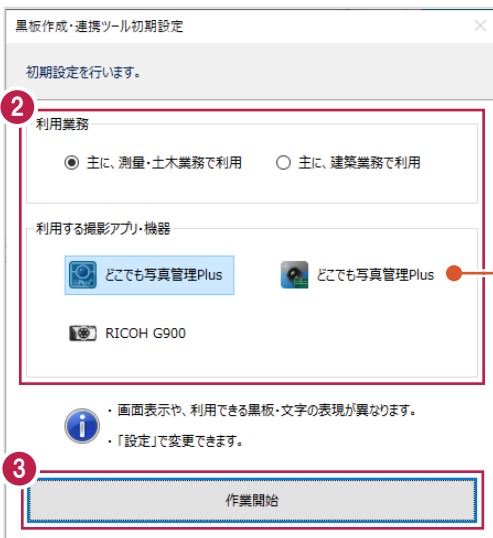
EX-TREND武蔵 写真管理から黒板作成・連携ツールを起動します。

1. 写真管理の分類ツリーで右クリックして [電子小黒板作成] をクリックします。



2. 黒板作成・連携ツールをインストール後に初回起動する際は、初期設定を行います。

3. [作業開始] をクリックします。



[利用する撮影アプリ・機器] は [どこでも写真管理Plus] (左側) を選択してください。

4. 工事内で初回起動する際は、[工事名] [河川路線名] [受注者名]を確認して[OK]をクリックします。  
黒板作成・連携ツールに工事データが作成され、メイン画面が開きます。

新規作成

新しく工事データを作成し、作業を開始します。

工事名 A工事

河川路線名 A路線

受注者名 〇〇株式会社

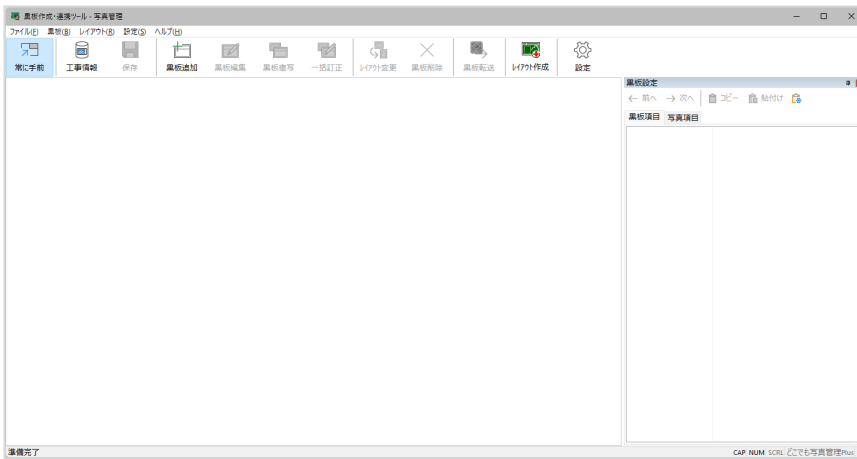
4 OK キャンセル

**【工事名】**：工事情報の【工事名称】が反映されます。

**【河川路線名】**：工事情報の【河川路線名等】が反映されます。

**【受注者名】**：工事情報の【受注者名】が反映されます。

各項目は黒板の「工事名」「河川路線名」「受注者名」に連動します。





# 黒板を作成する

EX-TREND武蔵 写真管理の分類や撮影箇所を利用して、黒板を作成します。

## 1. 写真管理で分類を選択します。



## 2. 黒板作成・連携ツールで [黒板追加] をクリックします。



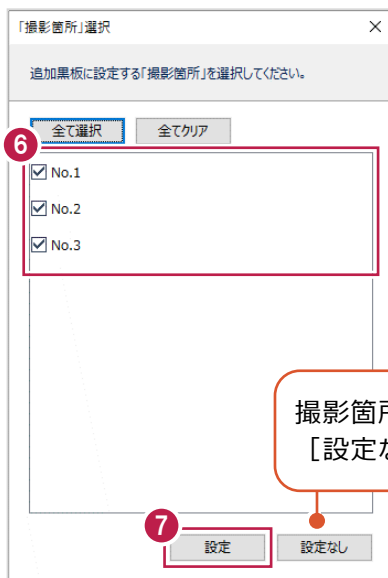
## 3. 追加する黒板数を入力します。

## 4. 黒板レイアウトを選択します。

## 5. [OK] をクリックします。



6. 写真管理に撮影箇所が登録されている場合は、黒板に撮影箇所を設定できます。  
設定する撮影箇所をオンにします。
7. [設定] をクリックします。  
黒板が追加されます。

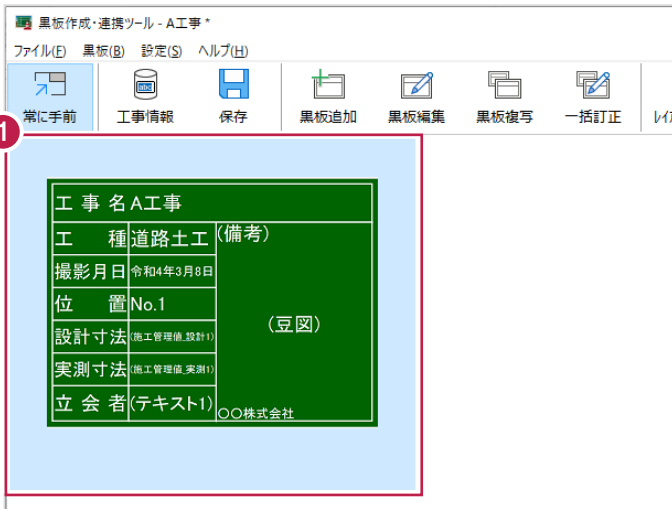


選択した分類の黒板が表示されます。  
黒板には分類と撮影箇所が反映されます。

# 黒板の情報を設定する

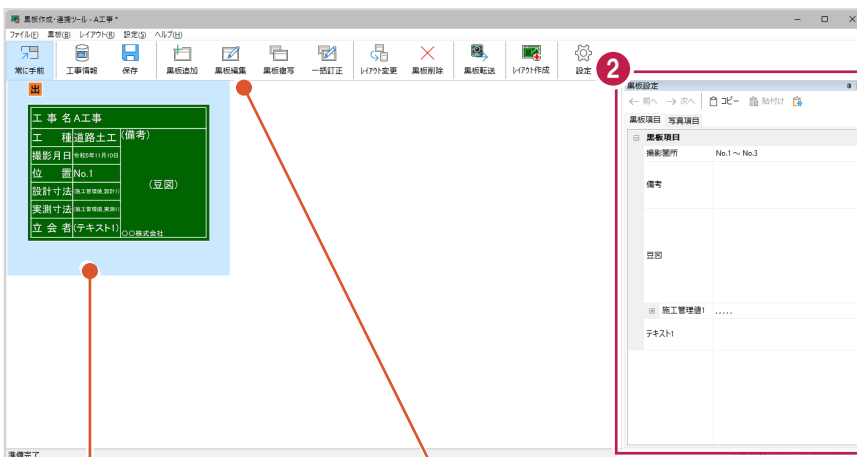
黒板の情報を設定します。

## 1. 黒板を選択します。



## 2. メイン画面右側の [黒板設定] で黒板の情報を設定します。

(詳細は黒板作成・連携ツールのヘルプを参照してください。)



設定した内容は、  
黒板サムネイルに反映されます。

黒板のレイアウトを編集する場合は、  
[黒板編集] を行ってください。

## 豆図を設定する

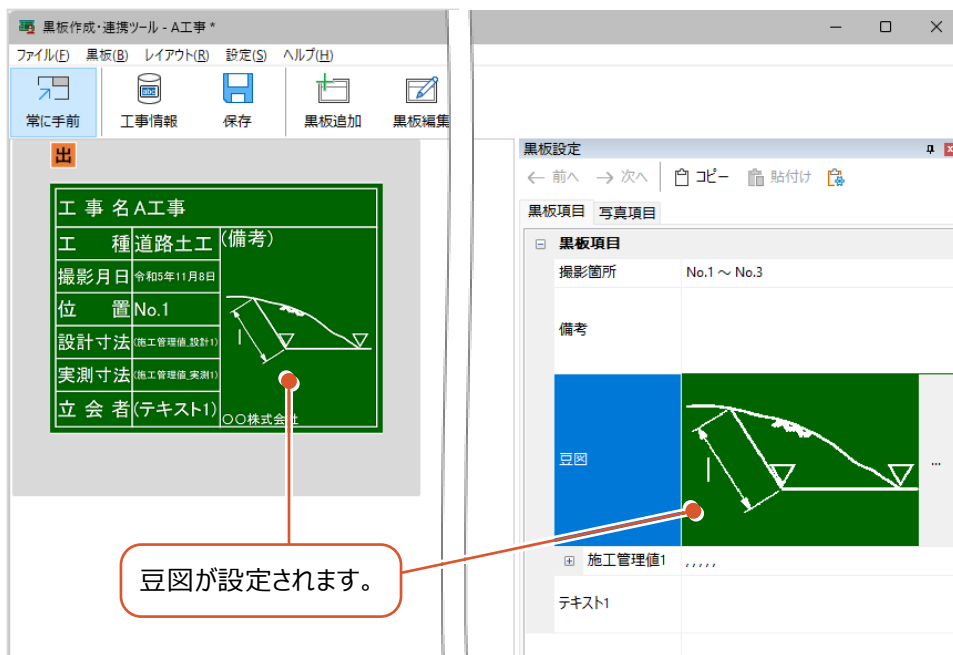
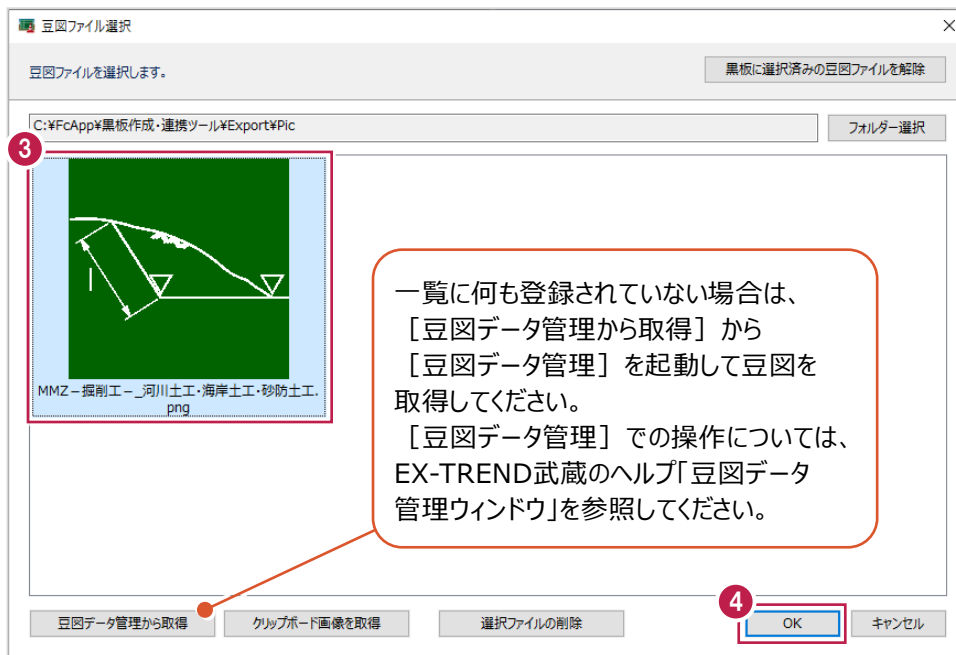
必要に応じて豆図を設定します。

1. [黑板設定] で [豆図] の項目をクリックします。
2. [...] をクリックします。



3. 豆図を選択します。

4. [OK] をクリックします。



# 4

## 黒板データをどこでも写真管理 Plus に転送する

黒板データをスマホアプリ「どこでも写真管理Plus」に転送します。

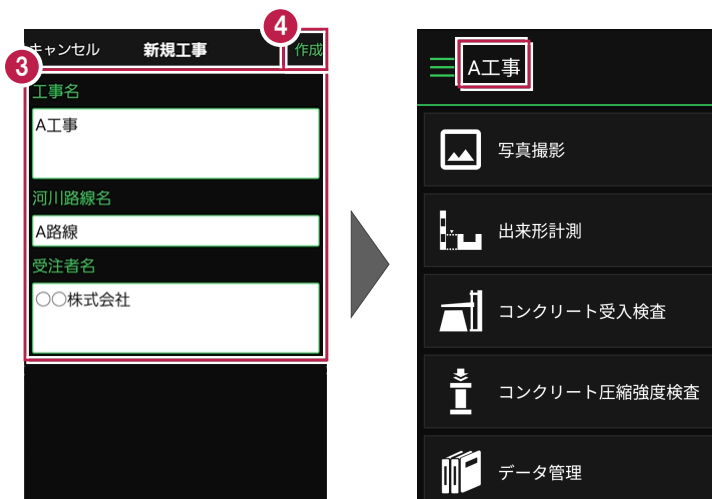
### 工事データを作成する

スマホアプリ「どこでも写真管理Plus」で黒板データの転送先となる工事データを作成します。

1. スマートフォンで [どこでも写真管理Plus] を起動し、メインメニュー画面のメニューボタンをタップします。
2. [工事の新規作成] をタップします。



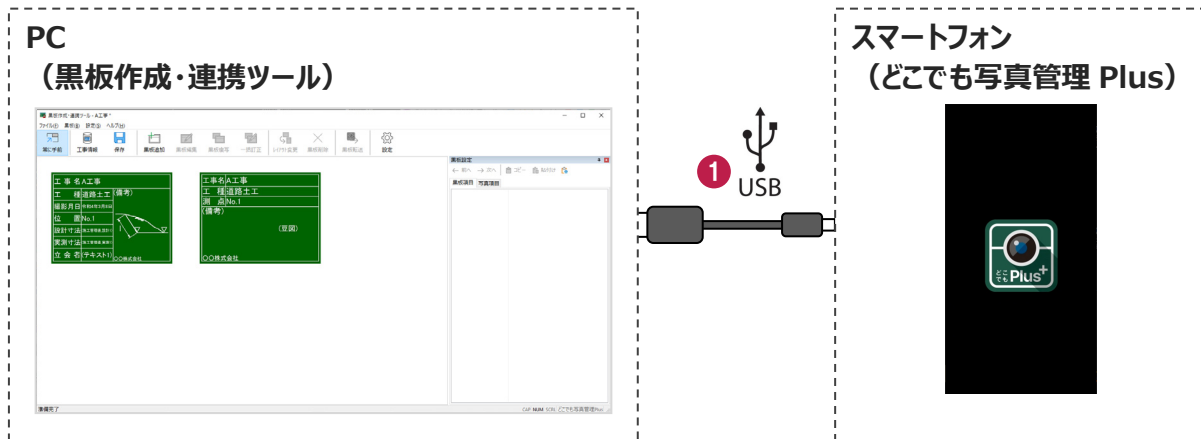
3. [工事名] [河川路線名] [受注者名] を入力します。
4. [作成] をタップします。  
作成した工事が表示されます。



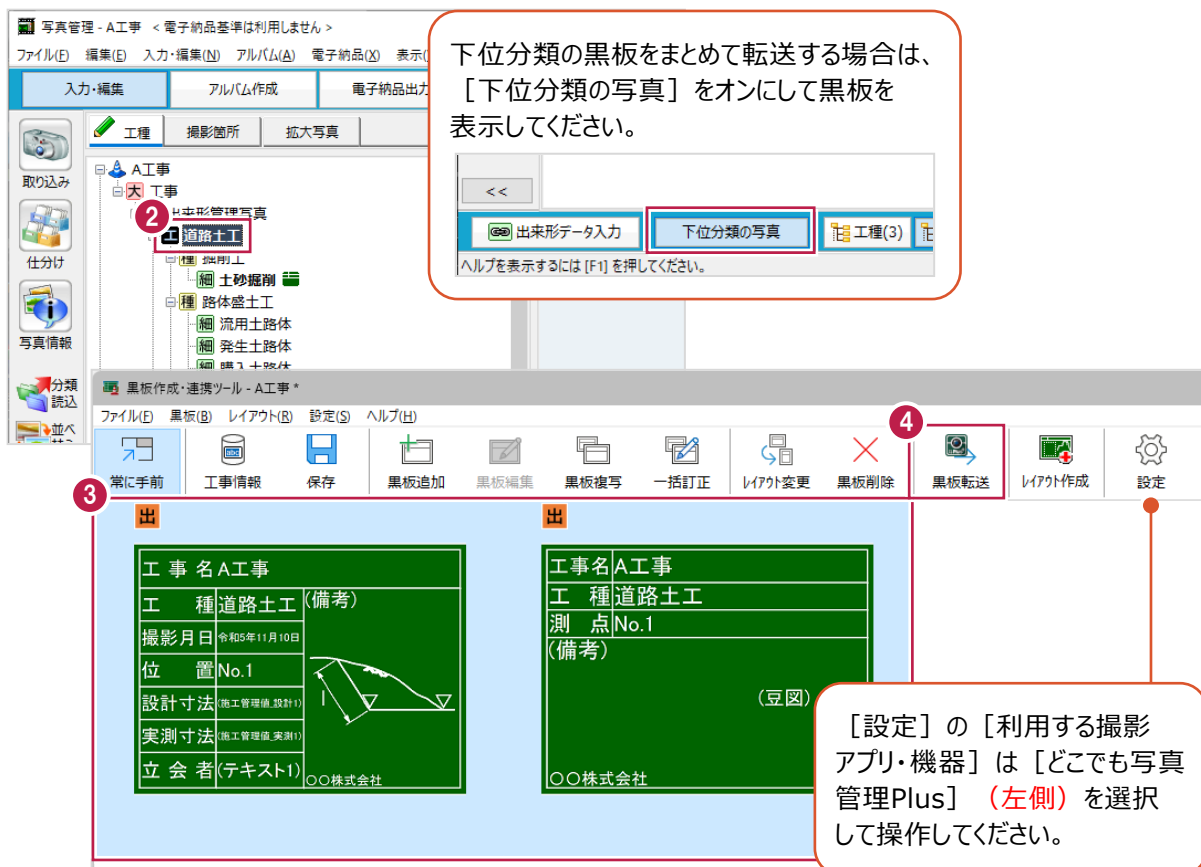
## 黒板データを転送する

PCとスマートフォンをUSBケーブルで接続して、黒板データをどこでも写真管理Plusに転送します。

1. PCとスマートフォンをUSBケーブルで接続します。

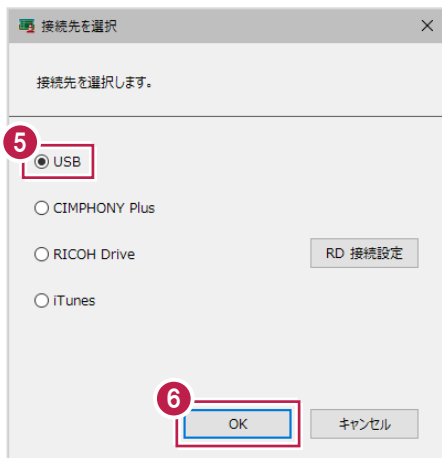


2. 写真管理で分類を選択します。
3. 黒板作成・連携ツールで黒板を選択します。  
(ctrlキーで複数選択して転送することもできます。)
4. [黒板転送] をクリックします。



5. 接続先は [USB] を選択します。

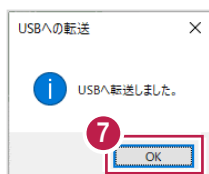
6. [OK] をクリックします。



7. [OK] をクリックします。

データが転送されます。

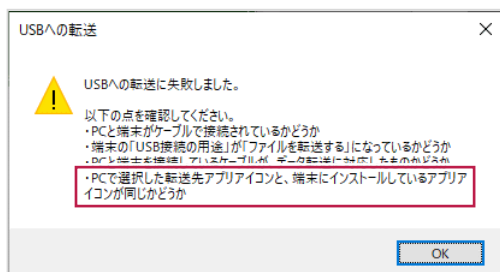
転送後はPCとスマートフォンからUSBケーブルを抜いて切り離してください。



## 補足

### アプリと設定が一致していない場合

スマートフォンにインストールしているアプリと黑板作成・連携ツールの設定が一致していない場合は、以下のエラーメッセージが表示され、転送できません。



黑板作成・連携ツール [設定] の [利用する撮影アプリ・機器] で [どこでも写真管理Plus] (左側) を選択して黑板転送を行ってください。

※他のエラーメッセージについては次ページを参照してください。



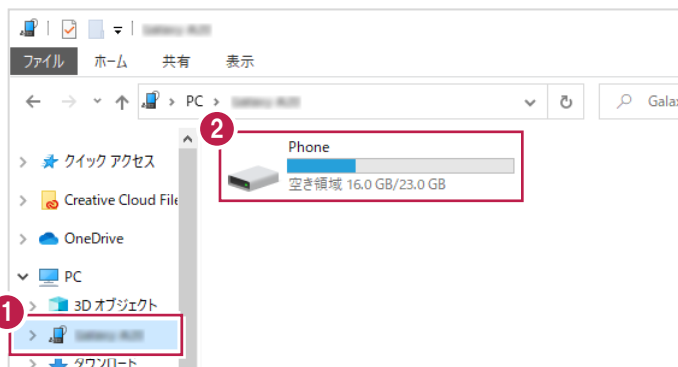
## USB 接続でデータの転送が失敗する場合

USBで接続したスマートフォンへのデータの転送が失敗する場合は、以下を確認してください。

### ●PCのエクスプローラーでスマートフォン内のファイルが確認できますか？

正しくUSB接続されている場合は、PCのエクスプローラーでスマートフォン内のファイルが確認できます。  
以下の操作で確認してください。

1. USB接続した状態でPCのエクスプローラーを開き、[PC] の下層にある「接続したスマートフォン名」をクリックします。
2. スマートフォン内の「Phone（内部ストレージ）」が表示されれば、正しく接続されています。



PCのエクスプローラーで

- ・接続したスマートフォン名が表示されない
- ・スマートフォン名をクリックしても何も表示されない
- ・エクスプローラーでは正常に見えるが、転送に失敗する

等の場合は、以下を確認してください。

### ●スマートフォンの電源は入っていますか？

スマートフォンの電源がオフになっていると転送できません。  
電源を入れてください。

### ●スマートフォンが画面ロックされていませんか？

スマートフォンがパスワードやパターンなどで画面ロックされていると転送できません。  
画面ロックを解除してください。

### ●正常なUSBケーブルで接続していますか？

「充電専用」のUSBケーブルでは転送できません。  
また、USBケーブルの不具合の可能性もあるので、他のUSBケーブルで接続してください。

### ●どこでも写真管理Plusが起動していませんか？

スマートフォンで【どこでも写真管理Plus】が起動している場合は、終了してください。

### ●スマートフォンにSDカードが入っていませんか？

スマートフォンにSDカードが入っていると転送が失敗する場合があります。  
SDカードのマウントを解除してください。

(次ページへ続きます)

## ● USB接続が【充電】モードになっていませんか？

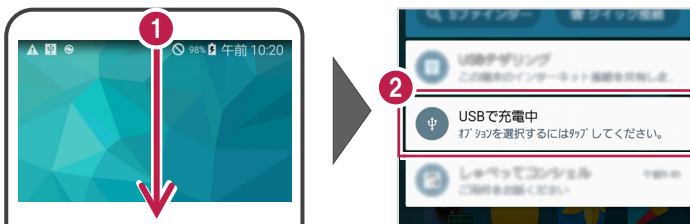
スマートフォン側のUSB接続が【充電】モードになっていると転送できません。

以下の操作でUSB接続を【メディアファイルを転送】（MTP接続）に変更してください。

1. USB接続した状態で、スマートフォンの画面上部から下に指をスライド（スワイプ）し、通知領域を表示します。

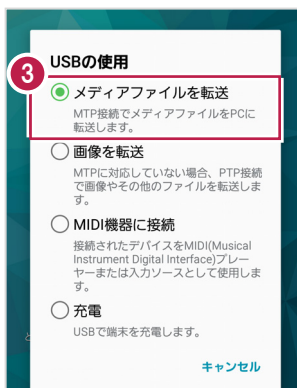
※通知領域のデザインや表示される内容は、スマートフォンにより異なる場合があります。

2. 【USBで充電中】をタップします。



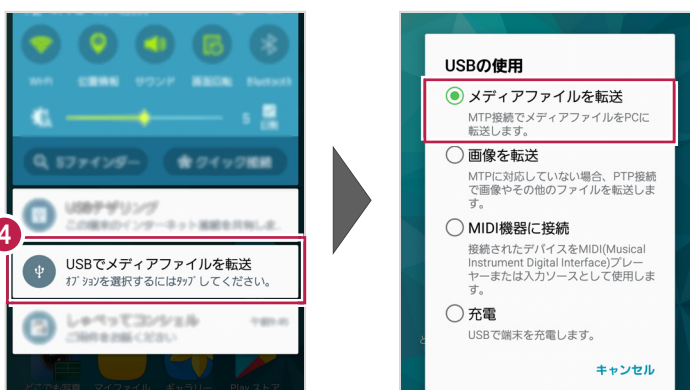
3. 【メディアファイルを転送】をタップします。（MTP接続にします。）

以上の操作で転送できるか試してください。



4. 【メディアファイルを転送】に変更しても転送できない場合は、

同操作で再度【メディアファイルを転送】（MTP接続）を指定し直してください。



# 5

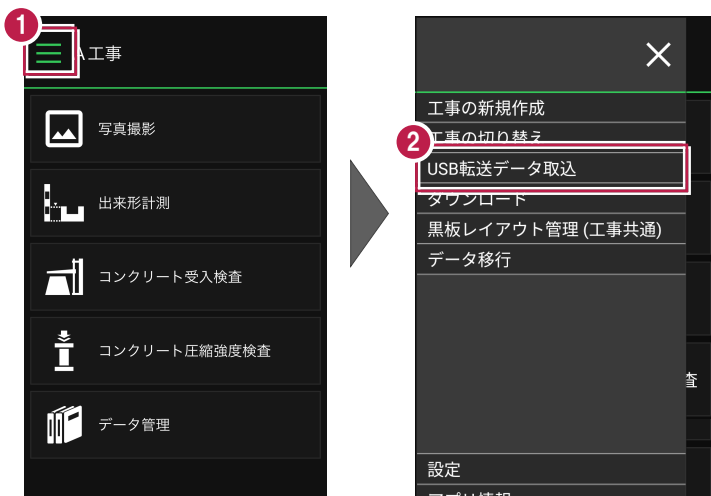
## どこでも写真管理 Plus で写真を撮影する

黒板作成・連携ツールから転送した黒板を使用して、どこでも写真管理Plusで工事写真を撮影します。

### 黒板データを取り込む

どこでも写真管理Plusに黒板作成・連携ツールから転送した黒板データを取り込みます。

1. どこでも写真管理Plusで作成した工事のメインメニュー画面を開き、メニューボタンをタップします。
2. [USB転送データ取込] をタップします。

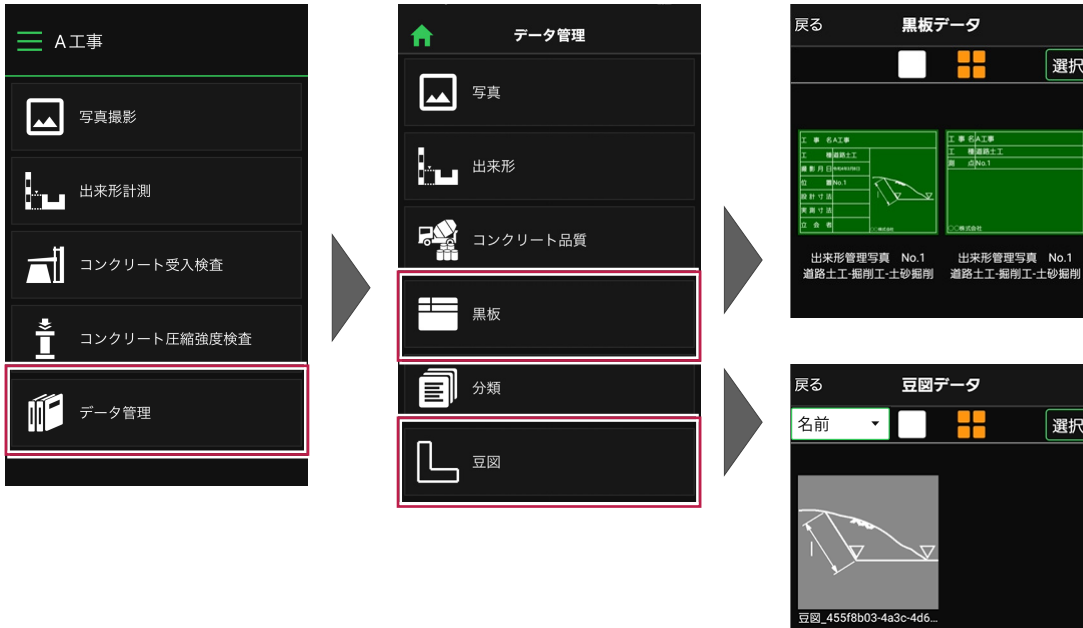


3. 取り込むデータを選択します。
4. [実行] をタップします。
5. [閉じる] をタップします。  
データが取り込まれます。



### 取り込んだ黑板报・豆図データを確認する

取り込んだ黑板报・豆図データは [データ管理] の [黑板报] [豆図] で確認・削除できます。



## 電子小黑板付き写真を撮影する

電子小黑板付き写真を撮影します。

1. メインメニュー画面で [写真撮影] をタップします。

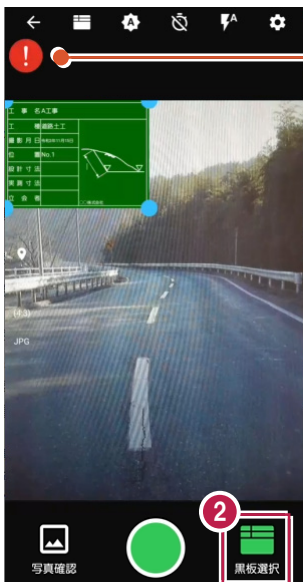


写真撮影画面を起動した際に、各種動作の許可を求めるメッセージが表示されることがあります。

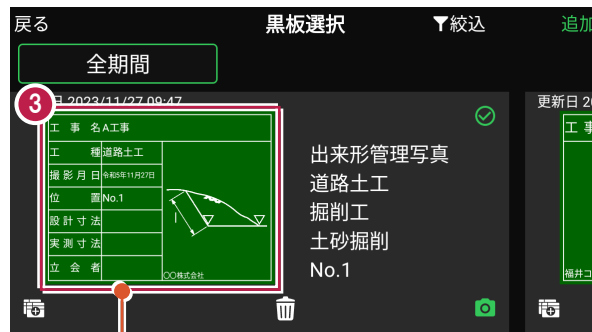
メッセージが表示された場合は、[許可] をタップしてください。

2. [黑板選択] をタップします。

3. 使用する黑板のプレビューをタップします。



エラーがある場合に表示します。  
エラーマークをタップするとエラー情報が表示され、  
エラー内容をタップすると写真情報を編集できます。

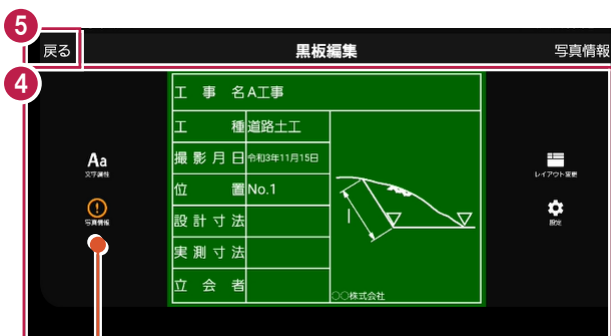


取り込んだ黑板が表示されます。  
黑板が複数ある場合は、画面を  
左右にスワイプするとスクロールします。

4. 黒板編集画面で文字属性や写真情報を設定します。

(編集方法はヘルプを参照してください。)

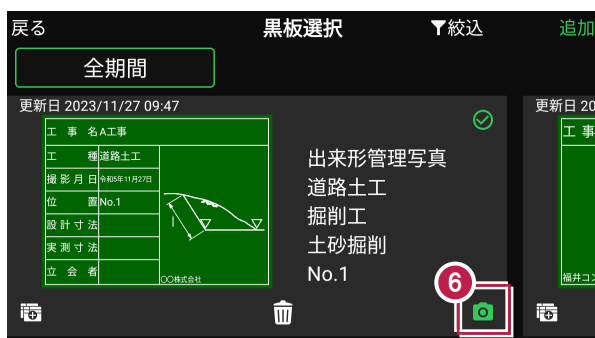
5. [戻る] をタップします。



文字属性モード/写真情報モードを切り替えて、黒板を編集します。

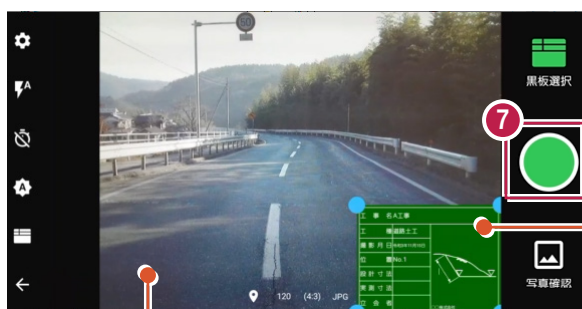
6. カメラボタンをタップします。

写真撮影画面に戻り、黒板が反映されます。



7. 撮影ボタンをタップします。

(写真撮影画面の詳細はヘルプを参照してください。)



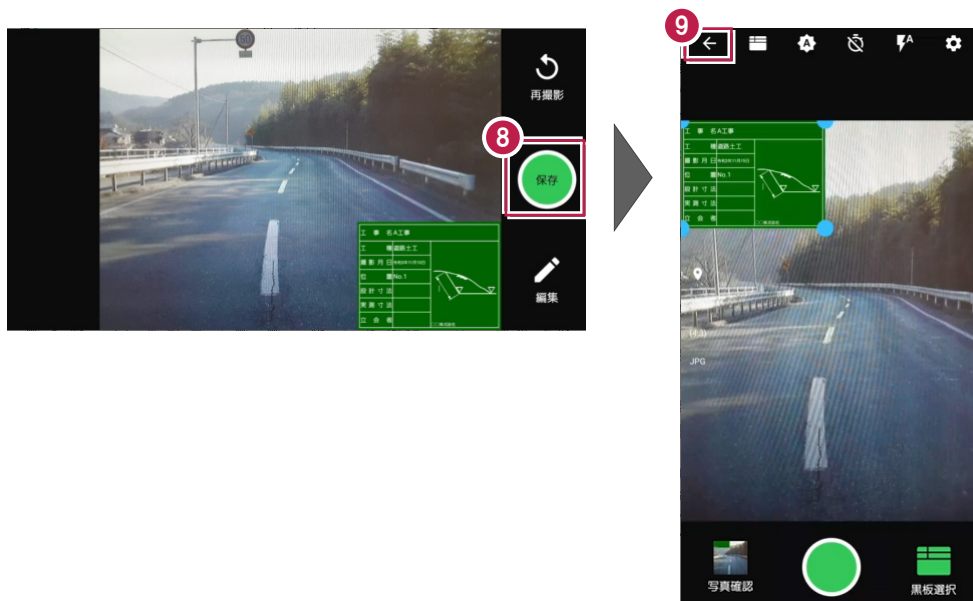
黒板をドラッグすると、移動できます。  
初期設定で黒板四隅のトラックをドラッグすると、拡大・縮小できます。

初期設定で端末を回転すると、  
写真撮影画面と撮影した写真も同じ向きになります。

8. [保存] をタップします。

写真が保存され、写真撮影画面に戻ります。

9. 戻るボタンをタップして、メインメニュー画面に戻ります。



補足

### 現場で黒板を作成する場合

現場で黒板を新規作成する場合は、黒板選択画面の [追加] をタップして、黒板レイアウト一覧画面から黒板を選択し、必要に応じて黒板を編集してください。



# 6

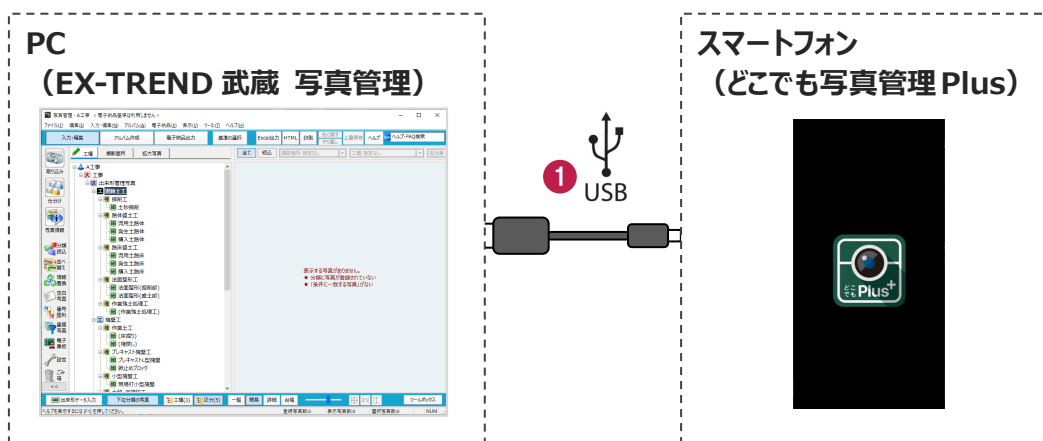
## 撮影した写真を写真管理に取り込む

EX-TREND武蔵 写真管理に撮影した写真を取り込みます。

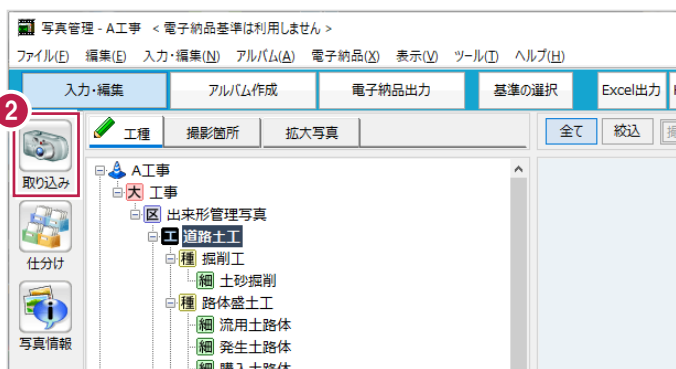
### 写真を取り込む

PCとスマートフォンをUSBケーブルで接続して、EX-TREND武蔵 写真管理に写真を取り込みます。

#### 1. PCとスマートフォンをUSBケーブルで接続します。



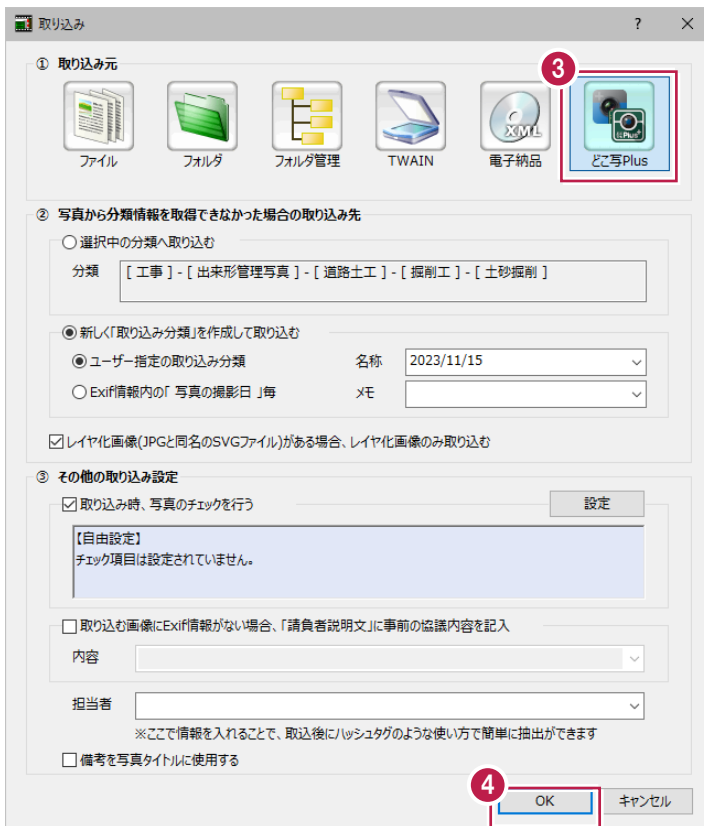
#### 2. 写真管理で「取り込み」をクリックします。





3. [どこ写Plus] を選択します。

4. [OK] をクリックします。



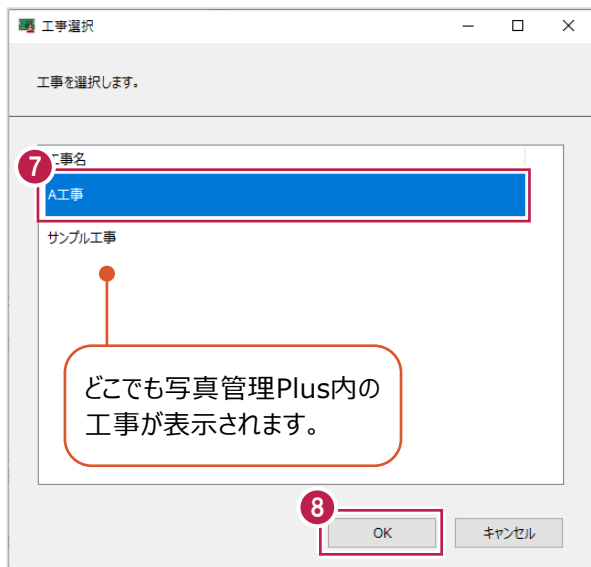
5. 接続先は [USB] を選択します。

6. [OK] をクリックします。



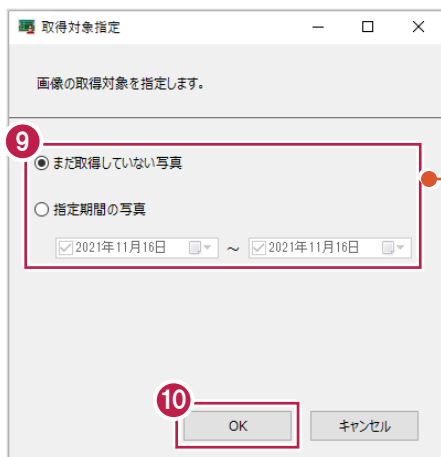
7. 写真を取り込む工事を選択します。

8. [OK] をクリックします。



9. 画像の取得対象を選択します。

10. [OK] をクリックします。



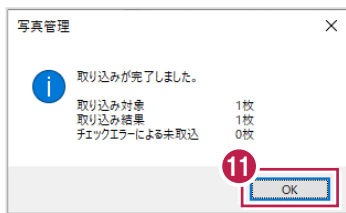
**【まだ取得していない写真】**  
一度も取得していない写真のみ取り込みます。

**【指定期間の写真】**  
指定した期間内の写真をすべて取り込みます。

## 11. [OK] をクリックします。

写真が取り込まれます。

取り込み後はPCとスマートフォンからUSBケーブルを抜いて切り離してください。



### 補足

#### 写真管理とどこでも写真管理 Plus の工事情報が異なる場合

写真管理とどこでも写真管理Plusの工事名称や受注者名が異なる場合は、工事情報の選択ダイアログが表示されます。どちらを利用するか選択してください。

